

警 察 署 協 議 会 会 議 録

早良警察署協議会

開催年月日時	令和8年6月5日 午後 4時30分 から 令和8年6月5日 午後 5時30分 まで	
開催場所	早良警察署4階会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下12名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、地域管理官、刑事管理官、総務課長、生活安全課長、地域三課長、刑事二課長、交通課長、警備課長、事務局
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>○ 早良警察署管内の治安情勢をより良くしていくためには、警察と住民がより一層連携し各種取組を行っていく必要がある。本日の協議会も、有意義なものとしていきたい。どうぞよろしく願います。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>1 令和8年（4月末）の早良区の治安情勢</p> <p>○ 刑法犯の発生件数は、署員の各種犯罪抑止の取組により前年比で減少している。</p> <p>○ 交通事故の発生件数は、署員の各種啓発活動、交通指導取締りにより前年比で減少している。今後も引き続き交通事故発生状況や取締り要望等を踏まえた交通指導取締りを行っていく。</p> <p>○ ニセ電話詐欺の発生件数は前年比で減少しているが、被害額は前年比で増加し高止まりしている。今後も引き続き国際電話利用契約の利用休止申込の支援及びLINEへの誘導遮断措置など、被害に遭わないための対策を積極的に推進していく。</p> <p>2 警察署協議会の運営の基本等</p> <p>○ 早良区内の安全・安心のために、本日も忌憚のない御意見をいただきたい。</p> <p>【委員自己紹介】</p> <p>【幹部自己紹介】</p> <p>【報告事項】</p>		

議 事 概 要

福岡県警察将来ビジョン(F-vision～未来へつなぐ、守る力。)について
(総務課長)

1 F-vision策定の経緯

- (1) 人口減少・少子高齢化が加速度的に進行するなど、社会の変容等に対応できる持続可能な組織を創出する必要性
- (2) 2040年の福岡県警察の在るべき姿の実現に向けた「福岡県警察将来ビジョン」(F-vision)の策定

2 将来の在るべき姿

- (1) 「福岡^{まち}」
- (2) 「職員^{ひと}」
- (3) 「県警^{そしき}」

3 分野別推進戦略

- (1) 変化する地域情勢への対応
- (2) 高齢化の進展への対応
- (3) 科学技術の進展への対応
- (4) 外国人との共生社会の進展への対応
- (5) 人材確保
- (6) 人材育成
- (7) 働きやすい職場環境の形成
- (8) 科学技術の活用・DXの推進
- (9) 警察組織の構造改革
- (10) 財政的資源の効果的運用

【質疑・意見・要望等】

- 委員から「子育ては予測できないことが起こるため、突発的な休暇等を取得せざるを得ないこともあると思うが、体制を確保するための取組などはあるのか。」旨の質疑があり、総務課長が「係の仕事の見える化を図るとともに、対象警察署で勤務する男性職員が育児休業を取得することによって生じた欠員に対し、本部所属に勤務する職員を派遣する補完措置を試行している。」旨説明した。
- 委員から「2040年の福岡県警察の在るべき姿の実現に向けた将来ビジョンとのことであるが、気象庁の予測では同年には地球温暖化が更に進んでいる。警察の仕事は屋外の業務も多いため、それを踏まえた取組を検討する必要がある。」旨の意見が上がった。
- 委員から「確かに地球環境の変化を予測した取組は大切だと思う。警察官は装備を着装しており、健康管理の面でも大切なことだと思う。」旨の意見が上がった。
- 委員から「昨今の状況から採用情勢は厳しいと思料されるが、人材確保のための警察学校の取組等を教えてもらいたい。」旨の質疑があり、総務課長が「警察学校は、『自ら気付き、考え、行動する』という理念のもとに、自立した警察職員を育成するための各種教養を行っている。人材確保の観点からは、採用活動が重要であり、多様で有為な人材確保のための各種取組を行っている。」旨説明し、署長が「離職防止が重要であり、育児中や介護中の職員が安心して働き続けられるための『両立支

議 事 概 要

援ポスト』の確保や、働く時間を柔軟化するなど、個々の事情に応じた働き方ができる取組を行っている。」旨説明した。

- 委員から「警察学校ではD X社会に適応するためにA Iを活用した学習等を取り入れているのか。」旨の質疑があり、総務課長が「現状は十分とはいえないが、今後は現実に即した学習を取り入れていくと聞いている。」旨説明した。
- 委員から「女性職員の活躍推進のためには男性職員の育児参加促進が重要であると思われるが、男性職員の育児休業取得状況を教えてもらいたい。」旨の質疑があり、総務課長が「現状、出産補助及び父親育児休暇は目標日数を全ての対象職員が取得しているが、育児休業については未だ十分とはいえないので、今後も取得を希望する男性職員が個々の事情に応じた取得ができるよう各種サポートを行っている。」旨説明した。
- 委員から「若手職員定着化のための取組を教えてもらいたい。」旨の質疑があり、総務課長が「ハラスメント未然防止の取組や幹部職員の声掛け等により、良好な職場環境を確保している。」旨説明した。
- 委員から「科学技術が急速に発展しているため、A Iを活用することが重要である。また、今後は若手職員の多様性等を認識した上での各種取組が求められると思う。」旨の意見が上がった。

【閉会】

以上で、令和8年度第1回早良警察署協議会を閉会する。